

琉球大学学術リポジトリ

最近の沖縄本島における森林組合と沖縄県森林連合会の経営に関する研究

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農学部 公開日: 2008-02-14 キーワード (Ja): 森林組合, 森林造成事業, 森林病虫害(松くい虫)防除事業, 木材チップ, 森林組合作業班 キーワード (En): forestry cooperative, forest cultivation project, prevention project of forest diseases and pests pine bark beetle, wood chip, working crew of forestry cooperative 作成者: 篠原, 武夫, 于, 彦, 福仲, 憲 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/3711

最近の沖縄本島における森林組合と沖縄県 森林連合会の経営に関する研究

篠原武夫*・于彦**・福仲 憲*

Takeo SHINOHARA, Yan YU and Ken FUKUNAKA: A Research on Recent Management of two Forestry Cooperatives and Okinawa Prefectural Federation of Forestry Cooperative in Mainland Okinawa

キーワード：森林組合、森林造成事業、森林病虫害（松くい虫）防除事業、木材チップ、森林組合作業班

Keywords: forestry cooperative, forest cultivation project, prevention project of forest diseases and pests pine bark beetle, wood chip, working crew of forestry cooperative

Summary

This paper describes the management characteristics of the Okinawa Hokubu (Northern) Forestry Cooperative, the Kunigami son (village) Forestry Cooperative and the Okinawa Prefectural Federation of Forestry Cooperative. All sorts of works (sale, purchase and use, etc.) and labor force organization (working crew) of these two forestry cooperatives and one Prefectural Federation are clearly investigated and analyzed.

The main works of the Okinawa Hokubu Forestry Cooperative are forest disease and pests (pine bark beetle) extermination and forest cultivation. The sale work of special forest products, such as fresh Shiitake mushroom, bamboo shoot and charcoal, and *Eucalyptus* work are also paid attention. The Kunigami Forestry Cooperative's main works are log production, forest cultivation, forest disease and pests extermination, and the production and sale of wood chip, laminated wood and flooring. The production of wood chip suffers a considerable decrease under the influence of the sudden high yen rate. The main works of the Okinawa Prefectural Federation of Forestry Cooperative are purchase including field-run seedling and forestry drugs etc., forest cultivation, forest disease and pests extermination, and the sale of supporting wood, etc. The workers of the working crews of the two forestry co-

* 琉球大学農学部生物生産学科

** 琉球大学大学院農学研究科生物生産学専攻

operatives and one Prefectural Federation are suffering from a problem of advanced aging. These three forestry organizations have contributed to forestry development.

This study was conducted by Yan Yu under the supervision of Prof Dr. Takeo Shimohara.

1. はじめに

近来、日円は超円高へ移行した。外材の攻勢による木材価格の低迷、木材自給率の低下、林業後継者の激減と林業労働者の高齢化、林業生産費の増加と森林管理状態の悪化、その他産業分野との所得格差の拡大などの要因によって、林業経営は悪化しつつある。このような中で、森林組合の地域林業の振興に果たす役割は益々高まっている。本論文は最近の沖縄本島における沖縄北部森林組合、国頭村森林組合そして沖縄県森林組合連合会の経営の特徴について2組合と連合会の組織、各種事業（販売・購買・利用等）及び労働力組織（作業班）を調査分析して明らかにする。

本論文の調査に当たって沖縄北部森林組合、国頭村森林組合、沖縄県森林組合連合会、沖縄県林務課等多くの方々のご協力を頂いた。これらの方々には心からお礼を申し上げたい。

2. 沖縄北部森林組合

1) 組合の現状

沖縄北部森林組合は復帰2年後の昭和49年6月11日に設立された。発足時の組合員は52名で、主な事業は松くい虫防除事業、治山事業であった。現在では組合員は147人で、正組合員は74人で、準組合員は73人である。同組合の主要事業部門は販売部門、購買部門、利用部門の3事業から成る。同組合の組織状況は表1の通りである。

表1 沖縄北部森林組合の組織状況

単位：人、円、ha

合 計	組合員数		職 員 数	出 資 状 況			組合員所有面積	
	正 組 合 員	準 組 合 員		出 資 総 額	出 資 口 数	支 出 資 金 込 済 額	市 町 村	私 有 林
147	74	73	4	19,465,500	38,931	19,465,500	18,978	341

注：篠原武夫「島嶼の林業振興と森林組合の役割に関する研究」、64頁、沖縄北部森林組合第21回の「通常総会」（平成7年）、5頁より作成。

2) 事業の実績

沖縄北部森林組合の事業部門（表2）は大別して指導部門、販売部門、購買部門、利用部門と金融部門の5つの事業に区分される。

販売部門は販売事業と林産事業に区分される。主な林産物は生しいたけ、たけのこ、木炭である。表3を見ると生しいたけ販売は減少傾向にある。これは安価な中国産の生しいたけの輸入が急増したためである。生しいたけ販売金額を見ると、平成元年は14,282千円で、平成6年は2,914千円である。

表2 沖縄北部森林組合の事業実績

単位：千円

年度	平成元年	2年	3年	4年	5年
指導事業費	924 (3)	1,747	1,383 (8)	1,122	504 (—)
販売事業費	16,552 (60)	4,478	4,646 (27)	5,525	10,815 (2)
購買事業費	10,052 (37)	4,024	5,481 (32)	9,550	16,334 (3)
金融事業費	—	283	179 (1)	212	136 (—)
利用事業費	—	—	5,478 (32)	572,740	608,715 (95)
合計	27,528 (100)	10,532	17,167 (100)	589,149	636,504 (100)

注：沖縄北部森林組合第18、19、20、21回「通常総会」、沖縄北部森林組合創立20史、42頁より作成。()内は合計に対する割合(%)

表3 沖縄北部森林組合の林産物販売状況

単位：kg、千円

年度	生しいたけ		たけのこ		木炭		金額 合計
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
平成元年	9,115	14,282	3,035	1,923	3,061	176	16,381
2年	8,495	2,791	2,134	1,409	—	—	4,200
3年	1,961	3,511	1,002	682	—	—	4,193
4年	1,493	2,700	1,404	942	6,011	819	4,561
5年	1,358	2,576	2,134	1,400	9,135	1,263	6,139
6年	1,595	2,914	3,180	2,300	12,701	1,701	6,915

注：沖縄北部森林組合の第18、19、20、21回「通常総会」、沖縄北部森林組合創立20史、42頁より作成。

購買部門は組合員への造林用資材、特用林産物生産資材及び伐木用チェーン・ソー資材の購買である。利用部門(表4)は森林造成事業、治山工事事業、病虫害(松くい虫。マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウ)防除事業、防風林造成事業、県民の森管理運営受託事業、ユーカリ事業、伐採事業から成る。

表4 沖縄北部森林組合の利用部門事業

単位：千円

区分	平成3年	4年	5年	6年
森林造成事業	131,425	129,641	136,022	155,828
病虫害防除事業	265,748	336,711	314,181	326,912
治山工事事業	7,637	12,337	15,882	13,591
防風林造成事業	—	—	—	22,569
県民の森管理運営 委託事業	17,733	29,119	34,035	34,937
ユーカリ事業	5,150	4,814	6,975	6,390
伐採事業	23,425	55,290	93,594	3,949
その他	447	4,828	7,430	7,088
合計	5,478	572,740	608,715	571,264

注：沖縄北部森林組合の第18、19、20、21回「通常総会」より作成。

3) 作業班

同組合の作業班の設置状況を表5に示す。平成5年度の作業班員の年齢層の割合は50歳以上が50.59%を占める。作業班員は高齢化が進んでいる。同組合の職員は社会保険へ加入しており、作業班員は労災保険のみ加入しており、雇用保険、医療保険、健康保険などへは加入していない。

表5 沖縄北部森林組合作業班員の年齢別就労日数別等状況 単位：人

年度	区分	合計	年齢別構成(歳)		男女構成		就労日数別構成(日)		
			49以下	50以上	男	女	59以下	60~149	150以上
平成元年		440	175	256	324	116	246	171	23
2年		487	239	248	362	125	272	189	26
3年		585	382	189	499	86	327	227	31
4年		250	133	117	223	27	37	90	123
5年		251	124	127	235	16	33	88	132

注：沖縄県農林水産部林務課「沖縄の林業」(平成元年、2、3、4、5年版)より作成。

3. 国頭村森林組合

1) 組合の現状

本組合(表6)は沖縄北部森林組合から脱退し、昭和59年9月14日に設立された。国頭村森林組合の主な事業は指導事業、パルプ用チップ生産を中心とした販売事業、森林造成事業を中心とした利用事業、養苗事業を中心とした購買事業である。

表6 国頭村森林組合の組織状況 単位：人、千円、ha

組合員数		役員			出資金			組合員の所有森林		職員数
正組合員	準組合員	常勤	非常勤	臨時	出資口数	出資総額	払出資金 込 済額	市町村	私有林	
363	24	1	9	3	3,913	39,130	39,130	5,306	370	11

注：国頭村森林組合第11回(平成7年度)の「通常総会」、「業務概要」(平成7年度)より作成。

2) 事業の実績

同組合の事業は素材生産事業、指導、販売、購買、利用と金融の6つの事業に分けられる。素材生産の実績は表7の通りである。

表7 国頭村森林組合の素材生産実績

単位：面積ha、材積m³

年度	区分	村有林		県営林		合計	
		伐採面積	材積	伐採面積	材積	伐採面積	材積
平成元年		22.3	3,307	3.89	543	26.22	3,850
2年		30.54	5,111	6.79	1,203	37.33	6,314
3年		7.05	1,208	3.82	599	10.87	1,807
4年		7.67	1,675	—	—	7.67	1,675
5年		11.24	1,414	7.17	1,341	18.38	2,755
合計		78.83	12,715	21.67	3,686	100.47	16,401

注：篠原武夫「県産材利用開発基礎調査報告書」（平成7年）、17～18頁より作成。

近年の円高で外国から安い木材チップが大量に入ってきており、その影響で組合の県営林、国頭村有林からの伐採量も大幅に減少している。本組合の販売事業（表8）の主要なものはチップ、矢板、支柱材、背板、一般用材の製品等である。

表8 国頭村森林組合の販売事業実績

単位：千円

区分	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年
背材	2,493	2,323	2,473	2,507	2,425	2,178
チップ	152,866	144,163	99,596	58,448	50,861	50,338
支柱材	33,295	32,566	24,778	28,105	26,701	13,938
パレット	1,691	2,588	1,117	1,670	3,499	4,628
乾燥板材	1,076	2,866	2,913	8,339	2,854	7,495
測量杭	3,692	795	725	605	775	626
集成材、フローリング	—	—	—	2,205	4,965	17,623
バーク、オガクズ	11,537	8,040	5,592	6,549	3,916	3,916
矢板	13,540	28,064	20,674	19,639	26,445	27,044
その他	3,239	2,760	361	1,332	383	4,430
合計	223,429	224,165	129,041	159,195	128,450	126,801

注：国頭村森林組合の第6、7、8、9、10、11回の「通常総会」より作成。

同組合のチップ工場は県内唯一である。チップの販売は年々減少している。その主な原因は国外から入ってきたチップの価格が国内より30%も安く、国内産チップの価格競争力が低くなった。その影響で組合のチップ原木の出荷量も大幅に減少している。チップ（生）の生産・販売量は平成元年に10,465トン、2年に9,808トン、3年に6,354トン、4年に4,440トン、5年に3,468トン、6年に3,618トンとなった。

支柱材と矢板はチップに次いで販売事業の第2位の製品となっている。支柱材の販売は年々減少している。その主な原因は販売ルートが不安定であることである。矢板、集成材、フローリングの販売は順調に伸びて、集成材、フローリングの販売は平成4年度に2,205千円、6年度に17,623千円となった。矢板、集成材、フローリングの生産・販売は極めて重要な事業である。

表9 国頭村森林組合の購買部門実績

単位：千円

区分	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年
購買事業	5,815	5,819	5,694	4,823	9,837	6,358
養苗事業	23,763	22,502	21,847	19,832	24,179	26,544
合計	29,578	28,321	27,541	24,655	34,016	32,902

注：国頭村森林組合の第6、7、8、9、10、11回「通常総会」より作成。

同組合の購買部門（表9）の主な事業は購買事業（林業機械等）と養苗事業である。平成5年には国道、県道および森林公園の整備事業などの公共工事の伸びに伴い、造林用苗木と緑化用苗木の供給が増加した。平成6年度養苗事業額は26,544千円であり、近年来のピークになっている。

国頭村森林組合の利用部門（表10）の主な事業は森林造成事業、治山事業、森林病虫害駆除事業とその他の事業である。

表10 国頭村森林組合の利用部門実績

単位：千円

年度	造成	治山	病虫害駆除	その他	合計
平成元年	145,134	23,648	3,467	24,299	196,548
2年	165,967	27,129	28,870	22,223	236,189
3年	170,060	11,791	52,214	63,010	297,075
4年	214,233	8,983	82,360	23,322	328,898
5年	224,694	6,573	106,560	99,455	437,283
6年	222,844	12,044	128,818	23,979	387,684
合計	1,142,932	90,168	394,289	256,287	1,883,676

注：国頭村森林組合の第6、7、8、9、10、11回「通常総会」より作成。

表を見ると利用部門の造成事業が順調に伸びている。平成5年にはダム貯水池内作業と農用地造成工事伐採作業の受注に伴い、事業量は大幅に伸び、事業額は99,455千円となっている。森林病虫害（松くい虫）駆除事業額は平成6年には126,818千円となり、平成元年に対して37倍の増となった。金融部門では組合員の資金運営をスムーズにするために、資金の貸付制度の拡充と利用促進を図った。金融事業の貸付実績は表11の通りである。

表11 国頭村森林組合の金融部門実績

単位：千円

年度	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
金額	3,039	1,958	2,338	2,098	2,025	5,500	1,500

注：国頭村森林組合の第5、6、7、8、9、10、11回「通常総会」より作成。

3) 作業班

同組合の平成5年の作業班員（表12）の総数は126人で、そのうち50歳以上が74人（60%）を占めており、高齢化が進行しているといえる。

表12 国頭村森林組合作業班員の年齢別就労日数別等状況

単位：人

年度	区分	合計	年齢別構成（歳）		男女構成		就労日数別構成（日）		
			49以下	50以上	男	女	59以下	60～149	150～210
平成元年		110	37	89 (70)	88	22	5	13	92
2年		104	34	85 (70)	81	23	—	6	98
3年		94	31	63 (70)	76	18	—	0	94
4年		101	27	74 (70)	76	25	—	10	91
5年		126	52	74 (60)	96	30	1	29	96

注：沖縄県農林水産部林務課「沖縄の林業」（平成2、3、4、5、6、年版）より作成。（ ）内は合計に対する割合（％）。

社会保険への加入状況は表13の通りである。役職員12人の社会保険加入状況を見ると、労災保険、雇用保険、健康保険へは全員が加入しており、農林年金へは11人が加入している。しかし、作業班員126人では雇用保険、健康保険、農林年金の加入率が低くなっている。

表13 平成5年度の国頭村森林組合職員及び作業班員の社会保険への加入状況

単位：人

区分	人数	雇用保険	労災保険	健康保険	農林保険
作業員	126	19 (15)	13 (10)	2 (2)	2 (2)
役職員	12	12 (100)	12 (100)	12 (100)	11 (92)

注：国頭村森林組合「平成5年度森林組合一切調査：森林組合調査表」より作成。（ ）内は合計に対する割合（％）。

4. 沖縄県森林組合連合会

1) 連合会の現状

沖縄県森林組合連合会（以下、県森連と略称する。）は昭和55年2月19日に設立された。県森連の組合状況は表14の通りである。

表14 沖縄県森林組合連合会の組織状況

単位：ha、千円、人

組合員数			出資金			役員				職員	
沖繩北合部員	八重山合山員	国頭合村員	出資口数	出資総額	払出資金額	合計	常勤	非常勤	監事	事務職員	技術職員
1人	1人	1人	720	7,200	7,200	10	1	6	3	1	3

注：沖縄県農林組合連合会の第16回「通常総会」より作成。

2) 事業の実績

県森連の主要な事業は購買部門と利用部門である。業務内容は指導部門、販売部門、購買部門、利用部門とその他の業務に分けられる。

販売部門の主要な事業は県産支柱材、林産物、林業機械と資材などに区分される。販売事業（表15）

を見ると支柱材、帯板材及び緑化木は県森連の販売事業の中で非常に重要な事業である。平成元年から6年の販売総金額の中で支柱材が61.0%、帯板材が16.6%、緑化木が21.7%、その他が0.7%となっている。

表15 沖縄県森林組合連合会の販売部門事業

単位：千円

平成		支柱材	帯板材	緑化木	その他	金額合計
元年	数量	16,281本	13,514本	2,968本	—	
	金額	10,551	2,396	458	596	14,001
2年	数量	14,731本	11,585本	26,353本	—	
	金額	8,861	1,909	2,097	22	12,871
3年	数量	7,595本	4,990本	1,300本	—	
	金額	5,104	845	302	454	12,654
4年	数量	5,770本	2,034本	454本	—	
	金額	3,121	378	440	732	4,671
5年	数量	52.67m ³	22.2m ³	2,695本	—	
	金額	4,257	2,035	1,337	337	7,966
6年	数量	90.98m ³	21.52m ³	5,283本	—	
	金額	8,168	2,221	2,900	94	13,383
金額合計		40,062	9,784	7,534	2,235	65,546

注：沖縄県農林組合連合会の第11、12、13、14、15、16回「通常総会」より作成。

購買部門（表16）の主な事業は山行苗、種子、種菌類、薬剤及びオイルその他資材などである。表を見ると薬剤の購買事業に占める割合が大きい。

表16 沖縄県森林組合連合会の購買事業

単位：千円

区分	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年
山行苗	5,801	892	1,647	15,613	11,946	12,640
薬剤	8,586	12,666	27,573	48,415	58,774	47,263
ノウポリ	—	—	—	11,397	10,949	8,843
アピトン資材	—	—	—	3,382	3,793	3,321
スギ資材	—	—	—	6,304	5,637	213
その他	20,535	—	18,454	10,172	18,282	5,568
合計	34,922	13,558	47,674	95,283	109,381	77,848

注：沖縄県農林組合連合会の第11、12、13、14、15、16回「通常総会」より作成。

利用部門（表17）の主な事業は森林造成事業である。県森連の森林造成事業はほとんど県、市町村からの委託事業である。県森連の金融部門（表17）は森林組合の経営基盤充実強化及び経営の合理化などに役立っている。その貸し付けは年々増加している。

表17 沖縄県森林組合連合会の利用部門と金融部門実績

単位：千円

年次	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年
利用事業	11,794	47,218	100,541	112,906	114,339	99,651
林業改善資金	29,770	30,000	11,120	25,030	11,575	17,000

注：沖縄県農林組合連合会の第11、12、13、14、15、16回「通常総会」より作成。

3) 作業班

平成6年度の県森連の作業班は2班である。1班は苗畑に働き4～5人であり、他の1班のは造林事業、治山事業及び病害虫駆除事業に従事し10人である。表の年齢別構成を見ると40歳以上が100%となっており、作業班員の高齢化が感じられる。作業員の一日当たりの賃金は男性が1万円、女性が7千円である。なお、社会保険への加入率は労災保険へ100%となっている。

表18 沖縄県森林組合連合会作業班員の年齢別就労日数別等状況 単位：人

年度	区分 合計	年齢別構成(歳)		男女構成		就労日数別構成(日)	
		39以下	40以上	男性	女性	60～149	150以上
平成元年	30	—	30	25	5	—	30
2年	30	—	30	25	5	—	30
3年	20	—	20	15	5	—	20
4年	20	—	20	15	5	—	20
5年	15	—	15	10	5	—	15
6年	15	—	15	10	5	—	15
合計	130	—	130	100	30	—	130

注：沖縄県森林組合連合会で調査した資料より作成。

5. 結 論

沖縄北部森林組合の主な事業は森林病害虫(松くい虫)防除事業、森林造成事業であり、生しいたけ、たけのこ、木炭などの特用林産物の販売やユーカリ事業も注目される。国頭村森林組合の主な事業は素材生産、森林造成、森林病害虫(松くい虫)防除、木材チップ、集成材、フローリングの生産・販売である。最近の急激な円高の影響により木材チップの生産は相当に減少している。沖縄森林組合連合会の主な事業は山行苗、薬剤などを含む購買、森林造成、森林病害虫(松くい虫)防除、支柱材などの販売である。2組合及び県森連の作業班員は高齢化が進行している。

以上のように2組合及び県森連は森林保護、林業生産、木材加工、林産物流通、雇用面等に大きな役割を果たしており、地域林業の中核的担い手として林業振興に努めている。

主な参考文献

- (1) 船越昭治 1993 転換期の東北林業・山村、農林統計協会
- (2) 国頭村森林組合の第16回(平成2年)、17回(平成3年)、18回(平成4年)、19年(平成5年)、20回(平成6年)、21回(平成7年)「通常総会」
- (3) 日本林業年鑑(1987年版)、林野弘済会
- (4) 沖縄県森林組合連合会の「ふるさと森林活性化情報誌」(平成元年、2、3、4、5年)
- (5) 沖縄北部森林組合の第15回(平成元年)、16回(平成2年)、17回(平成3年)、18回(平成4年)、19回(平成5年)、20回(平成6年)、21回(平成7年)「通常総会」
- (6) 沖縄北部森林組合の「沖縄北部森林組合概要」(平成2、5、6年度)
- (7) 沖縄県農林水産部林務課の「沖縄の林業」(平成2、3、4、5、6年版)
- (8) 沖縄県農林水産部林務課北部林業事務所の「業務概要」(平成5、6年版)
- (9) 沖縄県森林組合連合会の第11回(平成2年)、12回(平成3年)、13回(平成4年)、14回(平成5年)、15回(平成6年)、16回(平成7年)「通常総会」

- (10) 沖縄県森林組合連合会の「業務概要」(平成4、5年)
- (11) 林野庁林政部森林組合課 1995 平成5年度森林組合統計、全国森林組合連合会
- (12) 篠原武夫 1991 島嶼の林業振興と森林組合の役割に関する研究、琉球大学農学部学術報告、第38号
- (13) 篠原武夫 1991 沖縄県国頭村森林組合、(続)森林組合、全国森林組合連合会
- (14) 篠原武夫 1995 県産材利用開発基礎調査報告書、沖縄開発庁沖縄総合事務局林務水産課
- (15) 図解/日本の森林・林業編集委員会 1986年 最新図解/日本の森林・林業、日本林業調査会